



「コロナ禍における文化芸術支援について」

文化庁参事官（芸術文化担当）付

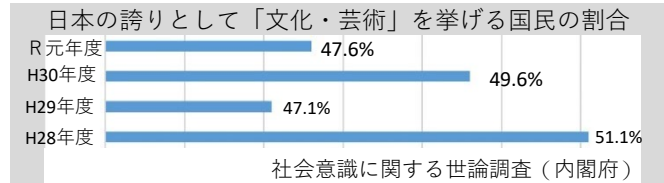
舞台芸術の創造・発信

令和4年度予算額（案） 5,448百万円
（前年度予算額） 5,648百万円
〔令和3年度補正予算額〕 556億円



背景・課題

我が国の芸術団体の芸術水準向上を図り、多くの国民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため、舞台芸術の担い手となる人材を育成し、水準向上に直接的な牽引力となる創造活動への重点支援を行う。また、国際発信力を強化し、効果的に発信することにより、我が国の文化芸術のブランド価値を高め、文化芸術立国の推進を図る。これらの一連の施策の好循環を継続させることにより、文化芸術が国民の誇りとして挙げられる割合を向上させる。



事業内容

人材育成

次代の文化を創造する新進芸術家育成事業【委託事業】 800百万円（835百万円）

- 統括芸術団体等による人材育成事業
- 新進の芸術家等を対象とした、公演・展覧会、ワークショップ・セミナー研修会等の実施
- 海外で活躍する気鋭の日本人芸術家を招へいし、国内の新進芸術家と共同して行う公演、展示等を各地で実施
- 件数・単価：52件×約14百万円（予定）
- 事業期間：平成23年度～

大学における文化芸術推進事業【補助事業】 331百万円（336百万円）

- 芸術系大学等の資源を活用したアートマネジメント人材の育成に係るプログラムの開発・実施及び産学等連携による創造性豊かな新たな人材養成に対する補助
- 件数・単価：24件×約14百万円（予定）
- 事業期間：平成25年度～

創造活動の推進

舞台芸術創造活動活性化事業【補助事業】 3,338百万円（3,338百万円）

我が国を代表する芸術団体が行う優れた公演・創造活動への支援
事業期間：平成28年度～

- 複数年計画支援 74団体程度（最大3年間）

分野	音楽	舞踊	演劇	伝統芸能	大衆芸能
団体数	23	13	17	12	9

- 公演事業支援（一般） 80件程度（1年間）

分野	音楽	舞踊	演劇	伝統芸能	大衆芸能
件数	16	13	47	3	1

- 公演事業支援（ステップアップ） 6件程度（1年間）
将来的に日本の芸術文化を牽引することが期待され、優れた芸術作品を生み出すことが期待される法人設立後10年以内（初回採択時）の芸術団体の公演・創造活動への支援

令和3年度補正予算額
コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業（AFF2、アートキャラバン）556億円

発信・海外展開・人材交流

戦略的芸術文化創造推進事業【委託事業】 502百万円（585百万円）

我が国の文化芸術各分野の総力を結集して行う世界レベルの取組みを通じ戦略的な文化芸術施策を展開

- 文化芸術による国家ブランドの構築や経済的価値の創出、国際発信力を高める展開等 12件程度
- 事業期間：平成28年度～

国際芸術交流支援事業【補助事業】 476百万円（554百万円）

- 海外国際フェスティバル参加等支援
件数：20公演程度
（音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能、多分野共同等）
- 国内で開催される国際的舞台芸術イベントの支援等
件数：3公演程度
- 国際共同制作支援（海外公演・国内公演）
件数：10公演程度
（音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能）

アウトプット（活動目標）

令和4年度実施見込件数
人材育成に資する事業等 76件
創造活動の推進に資する事業等 160件
発信・海外展開等に資する事業等 45件

アウトカム（成果目標）

舞台芸術創造の担い手となる優秀な人材の輩出
我が国の芸術団体が実施する優れた舞台芸術鑑賞機会（自主公演数）の確保
海外で実施する舞台芸術公演の平均入場率の確保

インパクト（国民・社会への影響）

文化芸術の創造・発展、次世代への着実な継承を推進し、文化芸術立国としての国際プレゼンス向上や国際文化交流を通じた相互理解・国家ブランディングを強化することにより、日本の誇りとして「文化・芸術」を挙げる国民の割合が高まる。

背景・課題

昭和61年度より開催。各種の文化活動を全国規模で発表，共演，交流する場を提供するとともに，地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典を実施。観光，まちづくり，国際交流，福祉，教育，産業その他の各関連分野における施策と有機的に連携しつつ，文化により様々な価値を生み出す。

事業内容

◇開会式・閉会式

◇分野別フェスティバル

全国各地の郷土芸能，合唱，吹奏楽，オーケストラ，演劇，舞踊，邦楽，文芸，美術及び茶道，華道などの生活文化等の分野ごとに，県や全国規模の文化関係団体等から推薦された団体等を中心にした公演及び分野別の展示・展覧会を実施。

◇国際交流事業

文化団体等の海外招へい・海外派遣による相互交流により，多様な日本文化を発信。

◇シンポジウム

アマチュア文化活動，地域文化活動等を含めた日本文化の動向及びその振興のあり方について広く国民の関心を喚起。

※ 天皇陛下4大行幸啓の1つ。

令和元年度 新潟県、令和2年度 宮崎県（令和3年度へ延期）、令和3年度 和歌山県

令和4年度 沖縄大会 令和4年10月22日（土）～11月27日（日）

令和5年度 石川県、令和6年度 岐阜県



開会式（国民文化祭・わかやま2021）

アウトプット（活動目標）

・分野別フェスティバルの開催

23件

・地域文化を活かした芸術公演・発表・展示

85件

アウトカム（成果目標）

・発表機会，鑑賞機会確保

・地域文化・伝統産業等の担い手の発掘

・特色ある地域文化の全国発信

・地域の文化財の積極的活用

インパクト（国民・社会への影響）

・県内の文化活動の活発化，裾野拡大

・地域の文化団体等のレベルアップ，活性化

・都道府県の知名度・イメージの向上

・地域経済活性化・観光集客の向上

背景・課題

各都道府県代表の高校生による、芸術文化活動を発表する全国大会として「全国高等学校総合文化祭」を開催し、創造活動の向上を図るとともに相互の交流を深めることにより、芸術文化の振興に資する。昭和52年度より実施。皇嗣殿下ご出席。

令和元年度 佐賀県、令和2年度 高知県、令和3年度 和歌山県、令和4年度 東京都、令和5年度 鹿児島県、令和6年度 岐阜県

事業内容

全国高等学校総合文化祭 優秀校公演

- 優秀校東京公演
全国高等学校総合文化祭において演劇、日本音楽及び郷土芸能の分野で優秀な成績を収めた学校が一堂に会する公演を実施。
- 伝統芸能公演等
地方での郷土芸能等を発表する場を拡充するため、関連事業を充実。



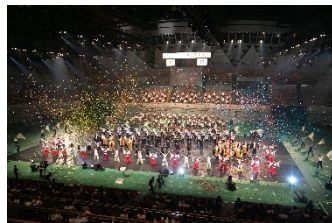
全国高等学校総合文化祭
優秀校東京公演

全国高等学校総合文化祭

- 文化庁、開催地都道府県、開催地市町村等の主催者が実施する主催事業として、総合開会式、パレード、部門別事業、国際交流事業を実施。

演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、マーチングバンド・バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、自然科学 ほか

※ 昭和52年度より実施。令和4年度 開催地：東京都



和歌山大会 総合開会式



和歌山大会 パレード

高等学校文化部活動 指導者養成事業

- 高等学校における文化部活動の更なる充実を図るため、部活動の指導者である顧問教員が適切な運営や指導の方法を身につけるための研修会を実施。



研究大会山形大会

アウトプット（活動目標）

- ・開会式
- ・フェスティバル
- ・国際交流
- ・トップレベルの芸術公演
- ・関連事業との連携 等

アウトカム（成果目標）

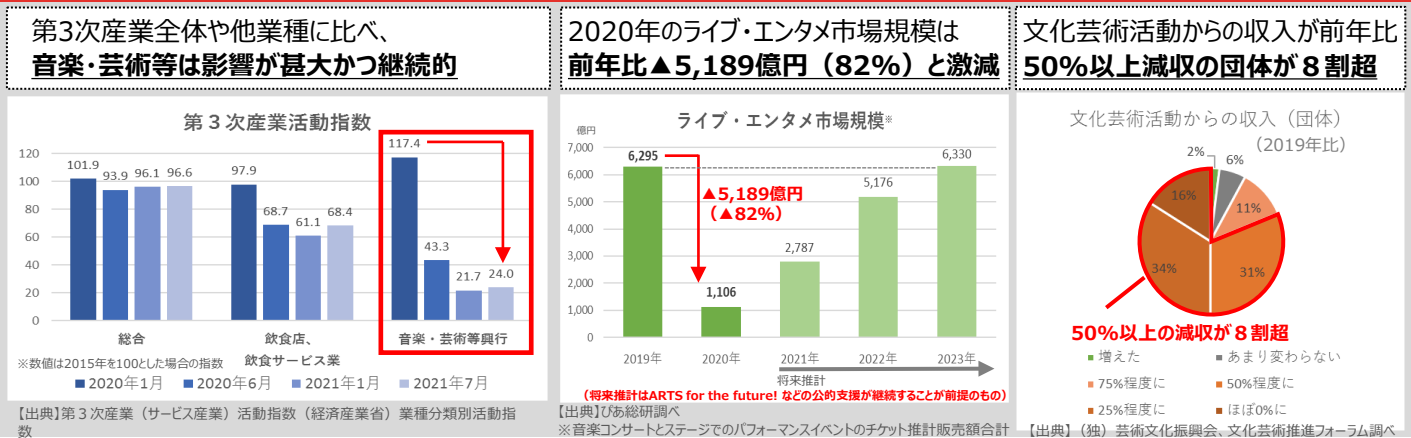
- ・発表機会、鑑賞機会確保
- ・若年層の芸術文化活動への参加意欲の喚起
- ・全国の高校生の文化部活動の活性化
- ・高校生の国際感覚の醸成
- ・文化芸術活動の全国発信

インパクト（国民・社会への影響）

- ・創造活動水準が向上
- ・日本文化の担い手の育成に寄与
- ・豊かな人間形成を促進
- ・都道府県の知名度・イメージの向上
- ・地域経済活性化・観光集客向上

背景・課題

- 長期にわたるコロナ禍において、緊急事態宣言に伴う中止や無観客化の要請等により、文化芸術活動は大幅に減少
- コロナ禍から文化芸術活動を再興するため、活動を充実・発展させる積極的な取組への支援が不可欠



事業内容

ARTS for the future ! (活動充実支援)

【概要】

- 文化芸術関係団体（法人を含む。以下同。）において、感染対策を十分に実施した上で、積極的に公演等を開催し、活動の充実・発展を図る取組を支援

【対象者】 文化芸術関係団体・文化施設*

【対象活動】

- 不特定多数の者に公開する公演や展覧会等の活動を行い、チケット収入等を上げることを前提とした積極的な活動
- ・ 今後、新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言等が発出された場合には、緊急事態措置区域等で行う予定であった公演活動等を延期・中止したときのキャンセル費用を支援

【支援額】

- 団体規模等に応じて1団体当たり上限600万円、1,000万円、1,500万円、2,000万円、2,500万円（定額補助等※）

【対象期間】 2022年1月～12月

※営利法人は売上減少割合が一定程度以下の場合に補助率1/2等を適用

統括団体によるアートキャラバン

全国規模	地域連携
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大規模で質の高い公演等の実施や配信を支援し、需要喚起や業界全体の活性化を図る <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全国規模の文化芸術統括団体（10団体程度） <p>【支援額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上限5,000万円/地域（定額補助） <p>【対象期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2022年2月～2023年1月 	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の文化芸術関係団体・芸術家を中心に取り組む地域連携活動を支援し、地域の文化芸術を振興する <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の文化芸術団体・芸術家を含む芸術団体等 <p>【支援額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上限5,000万円/地域（定額補助） <p>【対象期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2022年2月～2023年1月

背景・課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、子供たちへ文化芸術の鑑賞・体験をさせる機会が失われてきたが、今後の回復期においては、文化芸術の鑑賞・体験事業を希望する学校が増加することから、子供たちへの文化芸術の鑑賞・体験機会を再興する。

事業内容

- 学校による提案型事業
学校が希望する文化芸術団体やアーティストによる鑑賞・体験教室の開催を支援
件数・単価：900件×約110万円
- プログラム選択型事業
各分野の統括団体等が提案する企画と希望する学校の組み合わせを行い、その公演等の開催を支援
件数・単価：500件×約270万円

【対象】 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、義務教育学校、中等教育学校
【会場】 学校施設(体育館、教室等)、文化施設(美術館、音楽ホール等)



背景・課題

- 各家庭において、経済的な格差や文化に対する意識の差等により生じた文化芸術体験格差の解消のため、国内の小学校・中学校・特別支援学校等を対象に実施する。
- より多くの文化芸術の鑑賞・体験が可能となるよう地方公共団体への呼びかけなどを行うとともに、将来的には、地方公共団体の自主事業等も含め、義務教育期間中毎年1回は、文化芸術の鑑賞・体験ができる環境を整えることを目指す。
- 一流の文化芸術団体による公演等が都市部に集中しないよう、過疎地や山村地域等にある学校に通う子供たちも等しく文化芸術体験が享受できるよう努める。
- 教育委員会が学校と同等と認める場合は、フリースクールや院内学級等での実施も行い、様々な環境にいる義務教育期間中の多くの子供たちが質の高い文化芸術に触れる機会の充実に努める。
- 研鑽の機会が必ずしも十分でない、音楽、美術などの芸術系教科等を担当する教員等向けに研修を行うことで、教員の資質・能力の向上を図り、芸術教育の充実につなげる。

文化芸術による鑑賞・体験機会の効果や継続意向、課題

- ◆文化芸術による子供育成総合事業（文化庁）の利点及び効果
 - ・学校の利点で最も高いのは「学校や地方公共団体が実施するよりも、クオリティの高い公演団体・アーティストの公演を鑑賞・体験することができる」**76.5%**
 - ・子供への効果では「文化芸術への親しみが醸成される」**91.1%**
「より豊かな創造性や感性が育まれる」**88.8%**
- ◆文化芸術活動の継続意向及び課題
 - ・文化芸術活動の継続意向、「継続したい」**51.2%**
「実施したいが、このままでは難しい」**39.5%**、「実施したいと思わない」**6.3%**
 - ・事業継続に必要なことでは、「実施に当たっての十分な予算が得られる」**79.5%**
「実施に当たっての十分な体制が得られる」**58.8%**

文化芸術による子供育成総合事業に関する調査（令和2年度）

事業内容

1.巡回公演事業（合同開催事業）

- 国が一流の文化芸術団体を選定し、小学校・中学校・特別支援学校等において実演芸術公演を実施。
- 山間、へき地、離島など、鑑賞機会に恵まれない地域に存する小学校・中学校・特別支援学校等について、合同で実演芸術公演を複数回実施。
件数・単価：1,950公演程度×約220万円（予定）

2.芸術家の派遣事業

- 個人又は少人数の芸術家が学校を訪れ、講和、実技披露、実技指導を実施。
- 国、教育委員会と地域のNPO法人等が連携し、学校と芸術家個人や小規模グループをコーディネート。
件数・単価：3,150公演程度×約20万円（予定）

3.ユニバーサル公演事業

- 小学校・中学校・特別支援学校等において、障害者芸術団体による公演提供や、障害のある子供たちも鑑賞しやすい公演を提供し、表現の多様性や障害への理解を深めるための活動を実施。
件数・単価：100公演程度×約140万円（予定）

4.文化施設等活用事業

- 美術館、博物館、音楽ホール、能楽堂等の文化施設を会場とし、アーティストやエドゥケーター等が協力することにより、子供たちがより効果的な鑑賞・体験できる活動を実施。
件数・単価：100公演程度×約130万円（予定）

5.コミュニケーション能力向上事業

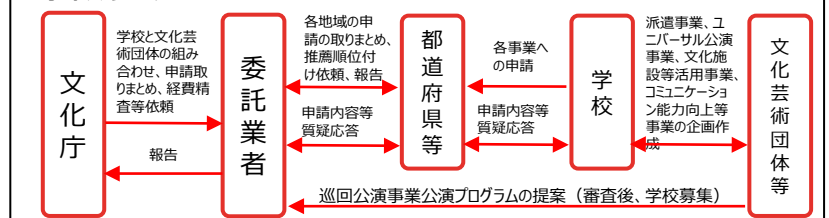
- 芸術家による表現手法を用いた継続的なワークショップ等で、芸術家による実技披露に加え、児童・生徒が小集団で協働して、創作や話し合い等のプロセスを重視し、課題解決に取り組む活動を実施。
件数・単価：200公演程度×約80万円（予定）

6.芸術教育における芸術担当教員等研修事業

小・中・高等学校等において、芸術系大学等と連携し、芸術系教科等を担当する教員等向けに実演鑑賞なども含む実践的な研修を行うことで、教員の資質・能力の向上を図り、芸術教育の充実につなげる。



◆事業スキーム



アウトプット（活動目標）

- ・巡回公演事業 1,950公演
- ・ユニバーサル公演事業 100公演
- ・コミュニケーション能力向上事業 200公演
- ・芸術家の派遣事業 3,150公演
- ・文化施設等活用事業 100公演

アウトカム（成果目標）

- ・一流の文化芸術団体による公演の鑑賞
- ・文化芸術への親しみの向上
- ・豊かな創造性や感性の育成

インパクト（国民・社会への影響）

豊かな創造力・想像力を養うとともに、思考力やコミュニケーション能力など社会人としての素養を身につけることで、将来の芸術家や観客層を育成、優れた文化芸術の創造につなげる

背景 課題

子供たちが身近な地域で学校の文化部活動に代わりうる継続的で質の高い多様な文化芸術活動の機会を確保できるよう、学校や地域が地域の文化施設や文化芸術団体、芸術系教育機関等との連携により、文化部活動の地域移行に向けた体制構築や持続可能な文化芸術活動の環境整備を行うためのモデル事業を実施する。（令和5年度より学校部活動の段階的・地域移行）

- 児童・生徒の文化芸術活動が居住地域や家庭の教育力・経済力に左右される現状（**表現や鑑賞機会の格差**）
- 少子化に伴う部活動の廃部や部員減少，児童・生徒のニーズの多様化（**学校内での活動機会の不足や喪失**）
- 部活動指導や大会引率等による教員の長時間勤務や休日出勤が常態化（**学校における働き方改革の必要性**）
- 部活動に代わりうる継続的で質の高い文化芸術活動環境の不足（**体制構築や持続可能な環境整備の必要性**）



事業内容

地域部活動推進事業（33百万円）

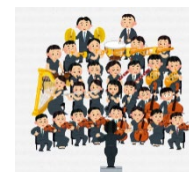
休日の部活動の地域移行（地域部活動）に向けて生徒の指導や大会の引率を行う地域人材の確保や活動場所・用具の確保，移動手段の確保，それらにかかる費用負担やコーディネート等の課題解決を目指すとともに、少子化に伴う廃部や部員減少，ニーズの多様化による指導者不足等に対応するための合同部活動実施に向けた移動手段の確保や，ICTを活用した練習・指導法の確立，それらにかかる費用負担等の課題解決を目指すため，全都道府県各1地域に拠点校を設け，モデル事業を実施。 **70万円×47件（地域）**

※ **令和3年度より実施。モデル事業としては令和4年度で終了予定。**

地域文化倶楽部（仮称）創設支援事業（80百万円）

子供たちが身近な地域で質の高い多様な文化芸術活動の機会を確保できるよう、**地域の文化施設や文化芸術団体，芸術系教育機関等が中心となって，新たな受け皿となる「地域文化倶楽部」（仮称）を創設するためのモデル事業を全国30件程度実施し，課題や手法を分析・検証する。**※令和3年度より実施。

- ・大規模 300万円×18件
会員数 40名以上
- ・小規模 200万円×13件
会員数 40名未満



アウトプット（活動目標）

- ・学校と地域文化団体や芸術系教育機関、地域文化施設等との連携 30件程度
- ・人材・場所・用具等の確保、ICTを活用した練習・指導法に関する課題解決を目指す文化部活動を地域へ移行するモデル事業実施 47件

アウトカム（成果目標）

- ・教員の部活動指導にかかる負担軽減
- ・部活動に代わりうる活動拠点の創出
- ・誰もが芸術文化活動に平等に触れることができる受け皿の創設。
- ・多様な文化芸術活動へのニーズへの対応。

インパクト（国民・社会への影響）

- ・学校の働き方改革への貢献
- ・地域の文化芸術団体等の活性化
- ・子供たちの文化芸術活動への活性化
- ・豊かな人間形成の促進
- ・創造活動水準の向上